



に い が た

〈新春号〉

県電だより



「祥鳳（しょうほう）」

作成日／令和2年12月

【コメント】

今から11年前に、ゴム印でなく自筆で「ご祝儀」、「ご香典」と袋に書きたいと思ったことから、書道を始めました。最初は10級から始め、6段まで昇級・昇段しました。その後、書道団体の役員を務めている方の指導を受け、書道の大会に出品するための作品を書くようになりました。現在は団体の「会友」の位置に属していますが、賞を取りながら「準会員」から「会員」を目指しています。

今回の作品は、令和3年1月の大会に出品するために書きあげ、入選した作品です。書道は白と黒のバランスとかすれの良し悪しで決

まります。墨の濃さや筆の筆圧、筆の動かす速さですべてが決まるため、同じ作品は作れません。一つの作品を作るのに、30枚以上書いても出来ない時もあり、心が折れることも多々あるのですが、満足のいく作品が出来た時は、喜びも大きくなります。

ちなみに、作品の「祥鳳」の意味は、めでたい時を祝う際に現れるという神鳥「鳳凰」を表す言葉です。

書は一生続けたいと思っている、趣味の一つです。

作者／新潟県電気工事工業組合 魚沼支部

株式会社コイデン 横山 弘文 氏

表紙写真紹介

新潟県電気工事工業組合



目次

1. 年頭のご挨拶	1
2. 第34回電気工事業全国大会（関西・滋賀びわ湖大会）に参加！	12
3. 柏崎支部との地域懇談会を開催	15
4. 「従業員のヤル気を引出す職場づくり」セミナーを開催	16
5. 「電気工事作業指揮者安全教育」WEB講習会での実施	17
6. Instagramはじめました	18
7. 各種表彰	19
8. 各支部だより	21
9. 各青年部だより	23
10. 第一種電気工事士定期講習	26
11. 令和4年度 消防関係試験実施計画	26
12. 組合で取り扱う各種保険商品	27
13. コンプラ講座シリーズ	29
14. 組合員の異動・変更	29

【表紙写真募集】

- ・県電だより年間発行予定：1月1日、4月1日、7月1日、10月1日（年4回発行）
- ・写真の現物あるいはデジタルカメラで撮影したデータを、発行日の1ヶ月前までに下記までお送り下さい。

記

〒951-8068 新潟市中央区上大川前通6番町1203 新潟県電気工事工業組合 TEL 025-229-4101

新潟県電気工事工業組合

広報誌「県電だより」ペーパレス化並びにデータ配信開始のお知らせ

新潟県電気工事工業組合の広報誌「県電だより」は、今号の令和4年1月新春号よりペーパレス化し、組合ホームページ並びに組合イントラネット（サイボウズ）上にデータ（PDF）配信いたします。この度のデータ化に伴い、これまでのモノクロの記事・写真・広告は全面カラー化し、組合員の皆様方にはもちろんのこと、広く一般の方々にも組合の活動や業界の最新情報、お役立ち・PR情報等をお届けする「広報誌」として配信してまいります。今後とも、組合広報誌としての「県電だより」の内容充実に向けてまいりますので、引き続きよろしくご願ひ申し上げます。



年頭のご挨拶

2022年 年頭のご挨拶

理事長

横田良英

新年明けましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃は当組合の事業運営に格別のご協力を賜りまして、心より厚くお礼申し上げます。

さて、昨年6月に開催されました通常総代会終了後の理事会において、理事長の大役を拝命いたしました。もとより浅学非才の身でありますれば、皆様方の叱咤激励の程、重ねてお願い申し上げる次第であります。

なお、理事長を拝命するにあたり、理事長方針として二つの重点実施事業、すなわち「組織の活性化と組織力の強化」並びに「収益事業の拡大」を、組合員の皆様にお示しいたしました。

一つ目の「組織の活性化と組織力の強化」に関しては、組合員数は平成9年度の1,068名をピークに右肩下がり、平成元年度には794名となり、約4分の1の274名減少いたしました。しかしながら、現在の組合の組織体制や実施事業は、近年の組合員の減少に適切に対応できているとは言い難い状況となっています。このため、組織体制をスリム化することにより、議論の活発化と意思決定の迅速化を図り、ひいては、組合員の皆様の真のニーズに応える事業の見直しを行うものであります。

なお、一つ目の重点実施事業に関しては、昨

年11月に開催された電気工事業全国大会の優良事業工組表彰で金賞を受賞いたしました、「新潟県工組タスクフォース」の答申をもとに検討を進めてまいります。

二つ目の「収益事業の拡大」に関しては、当組合の財務状況は毎事業年度決算で黒字を確保しておりますが、引込線事業や調査業務事業を始めとした収益事業に大きく依存しており、これらの事業の状況次第で、財務状況が悪化する懸念があります。

当組合が健全経営を維持して、今後とも組合員の皆様のための事業を継続して実施していくためには、安定的な収益の確保が不可欠であります。このため、収益事業の柱となっている引込線事業に関して、県本部での受注体制と各支部での受入体制を共に強化して、更なる仕事量の確保に努め、売上拡大を目指してまいります。私自身、これまで多年にわたり引込線事業に携わってまいりましたが、総仕上げという意気込みで取り組んでまいり所存であります。

さて、私が出席した様々な会議で、組合加入のメリットについて質問されることがありました。「ロバを水飲み場に連れて行くことはできるが、水を飲ませることは出来ない」ということわざがありますが、組合で行う事業は「場の提

供」(水飲み場に連れて行く)であり、そこにメリットを見つけ出す(水を飲ませる)のは、あくまでも加入する各人であるということをご理解いただきたいと思います。

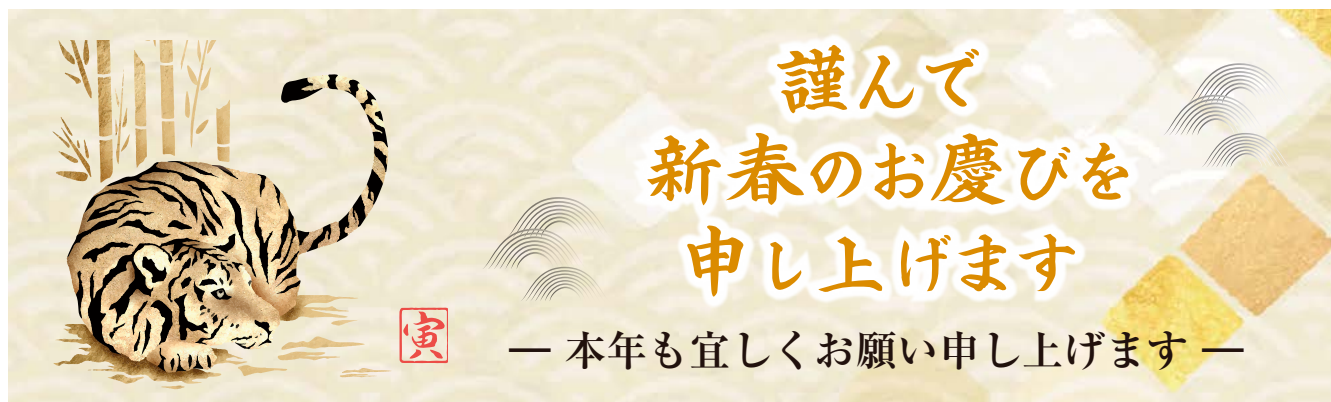
さて、私の好きな言葉に、「和を以て貴しとなす」ということわざがあります。聖徳太子が制定した十七条憲法に出てくる言葉で、何事をするにも、皆が仲良くやり、いさかいを起こさないのが良いという意味です。そしてこの言葉は、組合組織の根本的な理念である「一人は万人のために、万人は一人のために」と、考え方を一にするとされます。組合組織の要は人であるということ、あらためて認識したところでした。

当組合は今年で創立74周年を迎えます。人であれば古希を過ぎ、長寿を祝う年齢ですが、当組合でも70余年の間に様々な出来事がありました。そのなかでも、大きな出来事の一つとして、「新潟大火による電気工事技術者起訴」が挙げられます。昭和30年に発生した「新潟大火」では、大火を引き起こしたと推定される漏電火災の原因が電気工事によるものとして、工

事を担当した電気工事技術者が起訴され、禁固刑が求刑されました。全日電工連、当組合を中心に、無罪獲得のための運動が行われましたが、電気工事技術者の刑が確定するという結果になりました。しかしながら、この事件を契機として、先人達の不断の努力の賜物として、昭和35年に「電気工事士法」が成立しました。

この事件を振り返った時、先人達の技術者としての誇りと熱い想いを痛感せざるを得ません。先人達の誇りと想いを忘れることなく、5年後、10年後を見据えて組合運営に取り組んでまいります。また、近年の大きな社会の流れとなっているSDGsに関しても、働きがい、クリーンエネルギー等、組合にとっても取り組むべき課題があり、これらの課題に関しても可能な範囲で取り組んでまいります。

結びに、日頃お世話になっております関係諸官庁・諸団体、並びに東北電力(株)、東北電力ネットワーク(株)の皆様、今後とも益々のご指導ご鞭撻をお願い申し上げますとともに、組合員皆様のご隆盛とご健勝を心からお祈り申し上げて、年頭のご挨拶といたします。



年頭のご挨拶



令和4年 年頭の御挨拶

新潟県知事

花角 英世

令和4年の年頭に当たり、謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

昨年は、世界中で猛威を振るう新型コロナウイルスの感染拡大が収まらず、引き続き、多くの方が我慢や制限を強いられた1年となりました。改めて、感染された皆様に心からお見舞い申し上げるとともに、感染リスクと向き合いながら最前線で社会生活を支えていただいている皆様、そして県民の皆様の感染防止対策の徹底や事業者など関係者のご協力に対し、心から感謝申し上げます。

県といたしましては、今後の感染拡大の可能性に備え、県内の医療提供体制の更なる強化に取り組むとともに、市町村や医療関係者と連携しながら、感染予防、重症化予防等に有効なワクチンの接種が円滑に行われるよう対応してまいります。

併せて、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた地域経済の回復や、観光の反転攻勢に向けた取組等を着実に進めてまいります。

一方、このような困難な中で7月に開幕した「東京2020オリンピック・パラリンピック」においては、本県関係の代表選手が過去最多となったほか、東京パラリンピックでは、本県から2人のメダリストが誕生するという嬉しい話題もありました。これまでに経験したことの無い状況下で、諦めることなく、努力を積み重ね、大舞台で自身の持てる力を発揮し、活躍する姿は、私たち県民のみならず全国、そして世界中の人々に勇気と感動を与えてくれました。改めて、こうした多くの感動を創造し、たゆまぬ努力を続けてこられた選手並びにすべての関係者の皆様に心から感謝するとともに、今後はさら

に新たな一步、さらなる高みを目指し躍動していただきたいと願っております。

さて、昨年から新型コロナウイルス感染症が流行する中で、感染防止対策と社会経済活動の維持・回復が当面の最大の課題となりましたが、これらの取組に加え、将来の本県の成長・発展に向けた中長期的な取組を進めてまいります。

まず、「分散型社会」の実現に向けた取組として、働く場、起業・創業の場、そして観光客が訪れる場として新潟を「選ばれる地」にしていくことが重要であると考えております。そのため、「公民協働プロジェクト検討プラットフォーム」での議論を踏まえ、本県のさらなる活性化・発展に向けた具体の目標や実効性のある取組を検討してまいります。

次に、県として2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指している「脱炭素社会への転換」については、本県の多様な地域資源を活かした再生可能エネルギーの更なる導入や、水素エネルギーの利活用等の取組を進めているところです。また、新たに「環境局」を設置するなど、脱炭素社会の実現に向けた取組を一層推進してまいります。

今後も、電気工事における安全確保という基本の上に立ちつつ、高度な技術への取組を強化し、新しい分野へ積極的にチャレンジしていくことで、大きく飛躍されることを期待いたしますとともに、保安の確保、人材の育成、経営基盤の強化などに努められ、県民生活の安心・安全を担う機関として、引き続き御尽力くださるようお願い申し上げます。

結びに、貴組合の御発展と皆様の御多幸をお祈りしまして、新年の御挨拶といたします。



年頭のご挨拶

2022年 年頭のご挨拶

東北電力株式会社 上席執行役員 新潟支店長

藤倉 勝明

新年あけましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

新潟県電気工事組合の皆さまには、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。平素は当社の事業運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年、全日本電気工業組合連合会第34回全国大会におきまして、貴組合が「10年先を見据えた『新潟県工組タスクフォース』」で第5回優良事業組合表彰の金賞を受賞されたことをこの書面をお借りしてお祝い申し上げます。誠におめでとうございます。

さて、昨年を振り返りますと第3波から第5波の新型コロナウイルスの感染拡大が社会・経済活動、労働環境等に大きな影響を与えた一年でありました。また、地球温暖化を防ぐために開催されたCOP26で人的原因とする地球環境問題が大きくクローズアップされ、今後の世界規模の取り組みに注目が集まる一年でもありました。こうした環境下の中で電力業界にも大きな変革が求められてきますが、「電力の安定供給」の使命はこれまでと全く変わるものではなく、今後もグループ一体となってライフラインを担う使命を全うしてまいります。

また、昨今、私たちの生活様式や働き方、価値観などは大きく変化しており、特に「デジタル化」「分散化」「脱炭素化」の動きは、デジタ

ル技術を活用したテレワークの定着や、都市への一極集中の分散、さらにはデジタル化や分散化と親和性の高い再生可能エネルギーの普及拡大等の形で、一層加速していくと考えられます。このような中、昨年4月には「東北電力フロンティア株式会社」「東北電力ソーラーeチャージ株式会社」が設立されました。今後、この2社と共に、お客さまに「よりそう」新たな価値を創造・提供することにより、東北発のスマート社会の実現にも貢献し、新たな時代を切り拓いてまいります。

当社といたしましては、事業環境が大きく変化していく中でこれからも東北電力グループのスローガン「より、そう、ちから。」のもと、地元新潟の電力会社として、地域に「寄り添い」、お客さまのご要望に「より沿い」、新潟の成長や発展への貢献を通じて、お客さまや地域社会のご期待にお応えできるよう全力で取り組んでまいります。

結びになりますが、貴組合が長年にわたり、電気工事を通じて、社会基盤を支えながら経済発展に寄与されてきたことに、あらためて敬意を表しますとともに、貴組合の益々のご発展と、組合員とご家族の皆さまにとりまして、本年が幸多き年となりますよう心よりご祈念申しあげ、新年のご挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶



2022年 年頭のご挨拶

東北電力ネットワーク株式会社 新潟支社長
松坂英次

新春を寿ぎ謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

新潟県電気工事工業組合のみなさまには、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。平素は当社の事業運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて当社を含む東北電力グループは、昨年5月1日、創立70周年を迎えました。この日を迎えることができましたのも、ひとえに、地域のみなさまからの長年のご愛顧の賜物であり、誠に感謝申し上げます。これからも、地域にお住いのみなさまが、より安心・安全・快適に暮らすことができるスマート社会の実現に向け、電力ネットワークの高度化を通じて、安定供給の維持と電源の脱炭素化を目指した環境整備など、カーボンニュートラルに積極的に挑戦してまいります。

当社は、昨年10月、佐渡島において、再生可能エネルギー（太陽光発電 1,500kW）や蓄電池（5,000kW）、内燃力発電（両津火力発電所）、エネルギーマネジメントシステム（EMS）などを組み合わせた最適な需給制御の実現に向けた取り組みを実施することを公表し、鋭意手続きを進めております。

現在、佐渡島内の電力供給は内燃力発電が主体となっております。佐渡島は本土と電力系統が接続されておらず、電力需要も島内に限定されるため、天候により出力が変動する再生可能エネルギーが大量に接続された場合、電気の使用量と発電量のバランスが保てなくなり、電力の安定供給に影響を与える懸念があります。

今回の取り組みでは、太陽光発電と蓄電池に加え、EMSの新設に向けて検討を進めております。このEMSの運用により、再生可能エネルギーの出力変動による電力系統への影響を緩和し、安定供給を維持したまま再生可能エネルギーの最大限の活用を目指すものです。

また、佐渡島と言えば、「佐渡島の金山」の2023年の世界遺産登録を目指し、佐渡市のみなさまをはじめ新潟県全体が、悲願の達成に向け取り組まれています。私ども東北電力ネットワークとしましても、世界遺産の機運の高まりに資するよう、上述のプロジェクトについて全社を挙げて取り組んでまいります。

今後も当社は、電力ネットワークの高度化を通じて、安定供給の維持と電源の脱炭素化に向けた環境整備など、カーボンニュートラルに積極的に挑戦してまいります。脱炭素社会の実現に向けても電化へのシフトを推進し、地域社会の安心・安全・快適な暮らしに貢献いたします。引き続き、貴組合のみなさまより、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、貴組合が長年にわたり、新潟県内の電気工事業界の健全な発展と繁栄に取り組まれるとともに、電気工事を通じて、電気をご利用になられる地域のみなさまへ安心と安全をお届けし、社会基盤を支えながら経済の発展等に寄与されてきたことに、あらためて敬意を表します。貴組合の益々のご発展と、組合員のみなさまにとりまして本年が幸多き年となりますよう心よりご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



年頭のご挨拶

2022年 年頭の挨拶

総務委員長

中務 浩

新年明けましておめでとうございます。

今年度、新潟県電気工事工業組合(以下 電工組)の役員顔ぶれは春の改選により大きく入れ替わり、新鮮なスタートを切りました。そしてその新体制を待っていたものは、電工組の「向上を伴った変革」をしなければならぬという課題でした。その課題をクリアしていくうえで幸運だったことは、若い組合員の精鋭たちによる「タスクフォース」というグループから、これからの組合に必要な問題提起が第1次、第2次答申という形で既に出されていたことです。このタスクフォースの第1次、第2次答申を検討していくことが、すなわち上記の課題を解決していく鍵になると思いました。

その内容は、まさに組合の現状の痛いところをついた内容でした。そしてそれぞれの支部運営を考えたときに、なるほどその通りだと思われることが随所に見受けられ、私は相当なショックを受けました。その中で最も印象に残ったことは、予測される将来像として小さな会社は無くなっていき、ある程度の大きな会社のみが存在していけるというものです。

それは非常に極端ではっきりした意見ではありませんが、私のように数名の会社の間はこれを読んで面白いはずはありません。しかし以前のアンケートで後継者が決まっていなかった会社が多かったことを考えると、実際その通りだと思いました。企業の存続は事業承継ができるかどうかです。この問題に向き合ったとき、事業の

承継は身内以外の社員に承継を託す勇気と準備が必要なのだと思います。非常に苦しく悩ましい課題です。ぜひタスクフォースの答申を読んでください。そしてどうすれば明日を開いていけるのかを、ぜひ一緒に考えてください。

小さい事業所はどのようにすれば、魅力ある会社になれるのでしょうか？ コンビニはなぜ小さいのに、人気があるのでしょうか。欲しいものがコンパクトに手に入るという、魅力ではないのでしょうか。レジが近いというのも、ちょっと立ち寄るには都合が良いのです。我々の業界で欲しいものとはなんなのでしょうか、それは技術情報。そしてレジは担当者と考え、外から入ってきていきなり担当者として簡潔な相談ができるメリットは少なからずあると思われま

さて、コンビニと普通の個人経営の小さな食料品店との違いは何かと考えると、コンビニはチェーンがあり背景には大きな組織があり品物が洗練されています。私たちは背景に電工組を持つことにより、技術知識を磨きお客様の欲しい情報を提供することが必要です。そして他では(例えばインターネット)手に入らないものを提供することこそ、大切なのではないのでしょうか。

お客様に信頼され愛される会社になっていきたい、同時に社員に愛される会社になりたい。新たな1年の始まりに、今年はこのように考えて仕事をしようと思います。

本年も宜しくお願いいたします。

年頭のご挨拶



2022年 年頭のご挨拶

経営企画推進委員長

関 雅 生

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては希望に満ちた新年を迎えられた事とお慶び申し上げます。

2021年は、2020年と2年連続して「新型コロナウイルス感染症」に終始した年でした。国内ではワクチン接種率が上がり、このところは感染者が激減状態で様々な規制や制限が解除され経済活動も正常化へと向かいつつありますが、世界に目を転じると新型株の発生もあり、再度感染爆発の不安が残されて未だ予断を許さない状況が続いています。

昨年は1年延期された東京2020オリンピックが過去に例を見ない無観客での開催となりましたが、メディアを通して日本選手の活躍が日本人を大いに勇気づけてくれた年であったと思います。

その様な中で、昨年6月の総代会において三役はじめ執行体制が変わり、この度、県本部経営企画推進委員会の委員長を仰せつかりました。どうぞよろしく願いいたします。

当委員会は「1.人材の確保と育成に関する事項」、「2.組合員の事業拡大に関する事項」、「3.組合員事業所の就労環境の整備に関する事項」、「4.福利厚生制度の充実に関する事項」を軸に事業方針を明確に展開していく中で、総務委員会の事業の一部を移管することとなりました。

「人材の確保と育成に関する事項」で「電気系教育・訓練機関の学生との交流事業」や「女性活躍推進事業」を当委員会で受け持つこととなりました。交流事業は今年度で8年目の事業で、各支部の青年部が中心となって地元の高校への出前授業を行って、それが地元の就職に結びついている、人材の確保のために非常に有意義な事業であります。また、女性活躍推進事業は昨年度からスタートした新しい事業であります。

全日電工連の「もっと女性が活躍できる電気工事業界を目指す」のテーマで全国的な展開の事業でもあります。現在新潟県としては、県内の現役の女性従業員だけのワーキンググループを定期的に開催し、活発な意見交換を行いその中での問題点等を洗い出し、今後の女性が活躍できる業界を確立させる事業です。今後も当委員会として、重要な継続事業として推進してまいります。

昨年9月29日に第1回の経営企画推進委員会と各支部経営委員長との合同会議と、魅力ある職場づくりのためのセミナーとして「従業員のやる気を引き出す職場づくり」の講演を開催いたしました。当日は各支部経営委員長とWebで繋ぎ、県本部経営企画推進委員会のメンバーとハイブリット方式で行われました。各支部へ県本部の事業計画に対して事前にアンケートを実施し、回答を頂いた内容を基に活発な意見交換が行われました。初めての試みでありましたが、各支部の意見、要望を聞くことができ、大変参考になった会議でありました。セミナーも女性社長の経験談を基に、経営者のあるべき姿を熱く講演していただきました。

昨年12月には、組合員の業績拡大に関する事項の業績アップセミナーを開催いたしました。

福利厚生の充実として、昨年11月に3年ぶりに各種保険パンフレットを差替えて利用いただく、「保険加入のご案内」を全組合員に配布いたしました。「保険一覧」のチラシを参考にいただき、まだ保険に未加入の組合員の加入促進を行ってまいります。

結びに、今年一年皆様のご健勝をお祈りしますとともに、今後ご指導ご鞭撻のほど重ねてお願い申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶



2022年 年頭のご挨拶 ～新しい時代の幕開けとしたい～

広報・IT委員長

星野 泰助

新年明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、新春を晴々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。

また旧年中は、広報・IT委員会事業に格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年より新設されました広報・IT委員会として新潟県電気工事工業組合、同組合員の皆様に対して有益な事業はなにか？ 新型コロナウイルスの出現によって変わってしまった世の中の動き、考え方の中で当組合としてなにをしていけばいいか？ 委員6名のメンバーと共に委員会の新しい時代に於ける使命として以下3事業を柱とし積極的に活動を展開しております。

1. 『本誌「県電だより」のペーパーレス化を図り印刷経費削減、世界でもトップクラスの日本の紙資源消費を少しでも減少させること。』印刷する必要もなくカラー化が可能であり、広告部分を活用される皆様にとって情報発信し易くなったと考えます。尚、「県電だより」は今回この新年号よりデジタル配信されております。
2. 『サイボウズを再検証、更なる有効活用方法を検討すること。』サイボウズは10年以上稼働してきた当組合のいわゆるイントラネットであり、組合と組合員様相互をつなぐツールとして存在しています。しかし現状は役員・青年部・事務局など一部の使用に留まっています。現場で働くことが多い組合員の皆様からはスマホや移動情報端末に通知してほしい、アクセス方法の簡略化等々のご意見を頂いておりました。2027年には現在使用しているサイボウズパッケージ版のサポートが終了することもあり、皆様を使い易く、維持費削減もできる代替システムの導入検証を始めています。また現状のサイボウズ内に組合員様にとって

今より有用な情報の掲載を新潟県電設資材卸業協同組合様・メーカー様を交え検討しておるところであります。サイボウズに関しては組合員の皆様の貴重なご意見を随時頂戴したく思っておりますので宜しくお願い致します。

3. 『SNSとはなにか。SNSを活用することとはなにかを検証する。』SNSという言葉はよく耳にし、使用している方も多いと思いますが、そのツールやトレンドは目まぐるしく変化しています。中途入職者、若手入職者、さらに中高生へ我々の業界を広く知ってもらうツールとしてSNSは必要不可欠・絶対的なものと考えます。SNS企画の一部をアウトソーシングし事業をスタートさせています。事業を進めていくノウハウは組合員各社SNS事業展開への一助にもなってくれると期待しています。

以上を委員会事業の柱としていきますが、その他委員会内でのペーパーレス化は勿論のこと、我々業界のDX、組合事務DXにて新しい時代の新潟県電気工事工業組合を検証していかなければなりません。新設されたこの広報・IT委員会事業が今までにない事業を行うことによって組合・組合員の皆様にとって有益なものになり、従前の組織運営が良い方向へ変化するきっかけとなれば幸いです。また委員会運営にあたって担当の吉田副理事長、委員会メンバー6名、事務局の皆様には大変感謝申し上げますと共に2022年も宜しくお願い致します。

結びになりますが、この委員会が新潟県電気工事工業組合員皆様方の為に活動していくことを誓い精一杯活動させていただきますので、ご指導ご鞭撻を頂ければ幸いです。皆様のご健康とご多幸をお祈りし、新年の挨拶とさせていただきます。



年頭のご挨拶

2022年 年頭のご挨拶

技術委員長

梨本 栄一

新年あけましておめでとうございます。皆様には新春を迎えお慶び申し上げます

日頃より、委員会活動に、多大なるご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年もコロナ禍のたいへんな中、工夫して委員会活動を行って参りました。労働安全衛生関係講習会では「電気工事作業指揮者安全教育」を初めてはリモートで実施し、新技術の研修会では、(株)ニチフの電気配線省力化研修と日東工業(株)の防災対策研修の2つをリモートで各拠点も繋ぎ、実施致しました。今後もこのようなりモートでの研修会が増えていくと思いますが、ご理解とご協力の程、宜しくお願い致します。

今年度、初心者向けの積算講習会を企画推進委員会より引継ぎ、新潟、長岡、上越の3会場で実施致しましたが、たいへん好評でしたので次年度以降も実施する方向で検討しているところです。

また、昨年度中止となった「県の高校生ものづくりコンテスト」、「北信越の高校生ものづくりコンテスト」では、審査員として参加致しましたが、県大会では新潟工業高校の山川君、北信越大会では同じ新潟工業高校の永井君が優勝し素晴らしい大会となりました。

更にその後の全国大会で永井君が全国4位と

いう素晴らしい成績をおさめた事は、支援してきた我々にとってたいへん喜ばしい結果でした。

そして、今年は東北ブロック競技大会、全国競技大会が実施されますが、委員会として選手の全面的支援を行って参りますので、皆様からのご支援を切にお願い致します。

今年度の事業も残り少ないですが、これから開催される各種講習会、セミナーにおいてもカリキュラムの見直しやリモートでの実施を行う予定です。パワーアップした内容で企画しておりますので、多くの皆様からのご参加をお願い致します。

委員会として、「内線工事における不良率の低減」、「損害賠償事故低減の推進」など様々な大きな課題がありますが、今後とも全力でこれらの課題に取り組んで参りたいと思っておりますのでご支援ご協力をお願い致します。

以上、委員会事業に関しまして、ご要望、ご意見等あれば何でもお聞かせ下さい。今後の協議事項として皆様のお役に立てればと考えています。

結びになりますが、皆様の益々のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年も何卒、よろしくお願い申し上げます。



年頭のご挨拶

引込線事業の収益拡大と、 ゼロ災・ゼロ疾病をめざして

引込線事業委員長

原田 和 広

新春を寿ぎ謹んでご挨拶申し上げます。

日頃は、引込線事業に関しまして、多大なご支援とご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、引込線事業委員会では、引込線会社連絡協議会及びインストラクター専門部会と連携をとりながら活動しておりますが、令和3年は新型コロナウイルス感染リスクを回避しながらも各支部引込線会社の組織体制づくりおよび整備を行い、また「危険予知訓練」「昇降柱・基礎訓練」および「フルハーネス実技訓練」などの安全・技術面に関する訓練を開催することができました。令和4年は新型コロナウイルス感染者数が減少してきたとはいえ、変異株の出現など、新型コロナウイルスの影響がすぐに終息するとは言い難い状況ではありますが、皆さまからご参加いただける活動を展開したいと考えます。

加えまして、令和3年度第1回常務理事会で「収益事業の拡大」を今後の重点課題として取り組んでいくことが決定されました。特に引込線事業においては、引込線委託工事の売上は年々減少し、スイッチング工事も令和5年度末で終わる中、東北電力ネットワーク様より約2億円の発注を頂いている劣化引込線張替など配電付託工事は、空中分岐工法など新規開拓を

すすめながら更なる売上拡大を目指し、引込線事業部として一枚岩となって取り組みたいと考えます。そのためには支部間を越えた上・中・下越・佐渡というブロック体制や、引込線会社の協業、強化など具体的なビジョンを一つひとつ解決しながら前進してまいります。ご協力をお願い申し上げます。

安全面では、昨年も電気工事業界における墜落災害が散見されました。安全衛生法では、今年1月より高所からの墜落災害で重症化を防ぐため、「フルハーネス型墜落制止用器具」の着用が義務付けられましたが、フルハーネスは墜落災害そのものを防止する器具ではありません。これらのことより我々の委員会ではインストラクター専門部会を中心に「低圧以下引込線標準作業マニュアル」を今まで以上に安全に重点をおいた内容へ改訂すべく作業を進めてまいります。

結びに、With コロナを自覚しながら、季節的には気温低下、強風雪により作業環境が悪化する時季であり、作業前に一人ひとりが立ち止まり、(どのような危険があるか)(どうしたらいいのか)を自問自答し、「安全第一」をモットーに今年一年ゼロ災を目指しましょう。皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



年頭のご挨拶

2022年 年頭のご挨拶

県青年部会長

萩 莊 陽 一

新年あけましておめでとうございます。

日頃は新潟県電気工事工業組合青年部活動に多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

昨年1月より新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言が1都3県に発令され、翌月にはワクチン接種が開始されました。緊急事態宣言延長もありましたが、新潟県内においてもワクチン接種が進むなか、感染者拡大により多くの自粛ムードもあり、前年度に引き続きコロナ禍での組合活動を強いられることとなりました。

我々青年部の活動も当初予定をしていたものは変更や中止を余儀なくされ、思うような活動が出来なくなりました。前年度中止となった支部間交流親善スポーツ大会を本年度は実施すべく、交流・情報委員会で協議を重ねましたが、感染者数は減少傾向であるものの、新しい変異株の発生もあり、本年度も中止の判断をさせていただきました。スポーツ大会につきましては、開催に向け尽力いただいた三条支部の皆様には感謝を申し上げます。

経営・技術委員会では、感染症対策を講じたうえで、業界の発展・担い手確保に向けて、講演会を開催いたしました。WEBを活用したハイブリット開催により、多くの青年部会員だけでなく、親組合、組合所属事業所や支部事務局の皆様にも参加していただきました。

また、本年度は新潟県電気工事工業組合青年

部設立40周年の年でもあります。昨年40周年を無事迎えられたのは、尊敬する諸先輩方の功績あってのものだと感じ、深く感謝しております。

新型コロナウイルスの感染拡大により、本年度も思うように活動が出来ない一年間でありました。しかし、出来ないと不満に思うより、青年部らしくできることを積極的に取り組もうと議論を重ね、行動した結果、WEB会議システムの導入により、各種会議が講演会の配信などを行い、効果的な活動を継続できたことは皆さまのご理解とご協力の賜と厚く御礼と感謝を申し上げます。

都心部ではリモートワークの普及等コロナウイルスとの共存を余儀なくされ、新しい生活様式は一般化されつつあります。我々新潟県においても、ソーシャルディスタンスを意識した新しいスタンダードが構築されてきております。しかし、我々青年部は新しいスタンダードに配慮しながらも積極的に交流を行っていきたく思います。青年部らしい工夫と実行力を十分に発揮し、今年も積極的に活動していきたいと思っております。楽しみましょう！

結びに業界の未来を担う責任世代でもある私たち青年部が更なる発展と活躍することを祈念するとともに、本年が会員企業の皆様にとって明るくより良い一年となりますように祈念し、年頭のあいさつとさせていただきます。

第34回

電気工事業全国大会(関西・滋賀びわ湖大会)に参加!

第5回優良事業工組表彰で新潟県工組が **金賞** 受賞!

『10年先の未来を見据えた「新潟県工組タスクフォース」の発足』

11月11日、全日本電気工事業工業組合連合会(以下、全日電工連)主催、関西電気工事工業会主管による第34回電気工事業全国大会(関西・滋賀びわ湖大会)が、滋賀県大津市のびわ湖大津プリンスホテルにおいて開催され、当工組から三役はじめ11名が参加しました。

今回で第34回目となる大会は、メインテーマに『絆を深め 業界の発展につなげよう びわ湖の風に乗せて!!』、サブテーマに『インフラの要を担う電気工事業 広げよう 高めよう そのやりがい!!』『コロナに負けるな!! 一致団結で 今こそ示そう我々の底力』を掲げ、午前中に「組合活性化研修会」、午後から「大会式典」が開催されました。今大会は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、来賓代表と組合員代表者を会場定員の半分である500名以内に限定して実施され、来場できなかった組合員向けにユーチューブライブによる全国配信が行われました。



参加者記念撮影

10時より行われた「組合活性化研修会」は、

特色ある事業を行っている各県工組事業の事例発表を通じ、時代の変化の先頭に立つ意思を持ち、自ら行動する組織作りや工組財源確保の一助とするとともに、全国に啓発・普及を図る目的で開催され、第5回優良事業工組表彰エントリー55事業の中から、9事業について事例発表が行われました。



組合活性化研修会

13時30分より行われた「大会式典」は、開会宣言、国歌黙唱、物故者への黙祷、米沢寛全日電工連会長の主催者挨拶、ご来賓祝辞、組合役員功労者表彰、第5回優良事業工組表彰式および金賞受賞事業事例発表、大会決議(別紙掲載)、次回大会紹介等のプログラムが執り行われました。



大会式典会場 米沢寛全日電工連会長挨拶

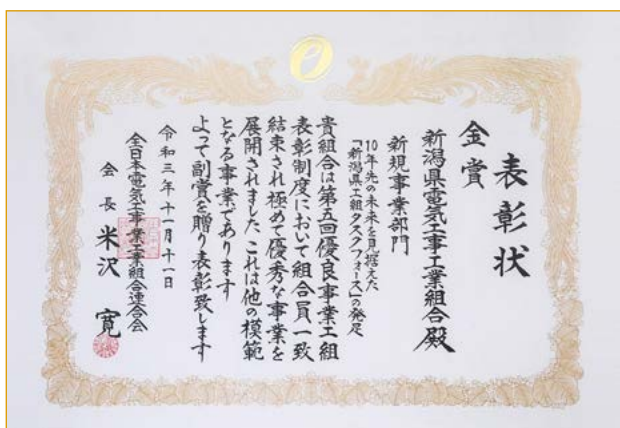
第5回優良事業工組表彰では、当工組が新規事業部門にエントリーした『10年先の未来を見据えた「新潟県工組タスクフォース」の発足』



第5回優良事業工組表彰 金賞



横田理事長と米沢全日電工連会長（中央）



が全 55 事業の中から金賞に輝き、米沢寛全日電工連会長より当工組の横田良英理事長に表彰状が贈呈されました。

また、一昨年の第4回優良事業工組表彰に当工組がエントリーした「組合の IT 化推進事業～組合イントラネット・Web 会議システムの導入～」並びに「柏崎市発注の公共工事における廃電線有効活用事業」が、他県工組に模範事業として活用され、その先進的な取り組みと事業内容が全国の組合への啓発・普及に多大な貢献をしたことにより、全日電工連より当工組に感謝状（盾）が贈呈されました。



続いて、新潟県工組タスクフォースの品田史夫座長より金賞受賞事業事例発表が行われました。発表は映像を中心に、新潟県工組タスクフォースの発足経緯、タスクフォースメンバーの選定基準、組合の将来として40年後の組合員数の推計、電気工事業や組合員を取り巻く環境の変化などを予測、そして、10年先の未来を見据えて組合組織や実施事業の改革を提言した第一次答申書（令和2年12月答申）並びに第二次答申書（令和3年7月答申）の内容等について紹介が行われ、最後に品田座長より「電気工事業の未来のために、全国の仲間と共に、私たちの未来を私たちの手で変えていこう！」と全国の組合員に向けて熱いメッセージが送られました。



新潟県工組 金賞受賞事業事例発表



新潟県工組タスクフォースの品田座長発表

次回大会紹介では、令和4年11月30日（学科）・12月1日（実技）に横浜アリーナで開催の第4回電気工事技能競技全国大会について大

会概要等の紹介、令和5年10月19日開催の第35回電気工事業全国大会（東北・福島）について、主管の東北ブロックと実施主体の福島県電気工事工業組合より案内とPRが行われました。



次回全国大会を東北ブロックがPR

今回の大会は、例年より規模が縮小され開催されましたが、組合活性化研修会と大会式典の様子は全国の組合員に向けてWEB配信され、コロナ禍の中でも全国の組合員がより一層の団結を強めた有意義な大会となりました。大会の開催にご尽力されました関係者の皆様、大変ありがとうございました。

（別 掲）

第34回 電気工事業全国大会 「大会決議（抜粋）」

- 一. DX化に先行する技術者の育成強化を図り お客様から信頼して任せられる電気技術者集団をめざす
- 一. 業界の新しい働き方を実現しインフラの要を担う電気工事業界の発展 繁栄に向け 正しい市場作りをめざす
- 一. コロナ禍後に確実に進化し 地域社会とともに歩む業界をめざしスピード感を持って各種事業を具現化する

柏崎支部との地域懇談会を開催

令和3年度の地域懇談会が、柏崎支部において開催されました。

地域懇談会は総務委員会事業として、支部組合員と県本部役員が組合事業活動全般にわたる意見交換を行い、各支部の実情・ニーズを把握し、より適切な組合運営を図ることを目的に、毎年度各支部を廻って開催されるものです。

柏崎支部との地域懇談会は、11月26日（金）、柏崎市市民プラザにおいて開催され、県本部より横田理事長をはじめ三役・総務委員他10名、

柏崎支部より役員・組合員他22名、合計32名が出席しました。



懇談会場

懇談会は、中務総務委員長の開会・進行ではじまり、柏崎支部の関雅生支部長並びに横田理事長より挨拶、組合の令和3年度重点実施事業について説明が行われたのち、今回の懇談テ

マである①電力配電パートナー制度、②県電だよりペーパーレス化、③行政機関に対する収入事業の各支部情報の提供、④若手入職者の離職問題、⑤若手入職者増進の為のメディア活用対応PR、⑥労働環境の改善について他、活発な意見交換が行われました。



関支部長の挨拶



横田理事長の挨拶



柏崎支部組合員と意見交換



設定操作用タブレットEx

Panasonic

レイアウト変更時にも
調光操作・設定が簡単に。

エリア設定で
照明器具を簡単に
グルーピング

用途や目的に
合わせた
シーン設定

スケジュールに
応じた自動的な
シーン切り替え

ワイリア
WiLIA
無線調光シリーズ
＜マルチマネージャーExタイプ＞

詳しくは



パナソニック株式会社 エレクトリックワークス社 新潟電材営業所 〒950-2031 新潟市西区流通センター1丁目1番地3 TEL.025-260-7711

令和3年度 「従業員のヤル気を引出す職場づくり」セミナーを開催

経営企画推進委員会（関雅生委員長）主催の令和3年度「従業員のヤル気を引出す職場づくり～従業員のモチベーション・仕事の成果を上げ、経営に生かす～」が、9月29日に電気工事会館において開催され、組合員は支部経営委員長11名、各社または支部より24名がWEBで視聴し、県本部経営企画推進委員8名が対面方式で計43名が参加しました。

当委員会では、「魅力ある、働きがいのある職場づくりのためのセミナー」として、従業員が安心して働くことができる就労環境の整備や、将来に目標が持てるような処遇、また、従業員のモチベーションを上げるための方法に関して、使用する側の事業主や人事担当者に理解していただくことを目的に開催しました。

講師には、新潟県が紹介する「女性が活躍できる企業」にも掲載され、過去には経営力アップに繋がるワーク・ライフ・バランスについて講演経験のある新潟県燕市で金属製品製造業を営まれている(株)ハセテック代表取締役 原田雪



セミナー風景

枝様をお迎えし、ご講演いただきました。内容は会社改革として、お金をかけずに実現性の高いものから手掛けることを始め、補助金を活用した改良（男性育児休暇の取得や施設整備）を行い、休暇取得により従業員のプライベートが充実し、仕事への意欲に繋がったことなどのお話を伺いました。原田講師の人柄と熱い想いに触れ、その後の出席者の方にご回答いただいたアンケートでも「業種が違えど学ぶことはたくさんあった」「リアルな話が聞けて会社改革後の変化など参考になる」、「皆で良い経営者になるために研修することはとても意義のあることだ」といった声が聞かれました。

お車の燃料代コスト削減！！

法人・個人事業主様向けお得な掛売カード



エネオスビジネスカード

- ①全国のエネオス店どこでも当店契約単価で給油できます
- ②年会費・入会金・カード発行手数料「無料」
- ③車両ごとのご利用明細がWEBで「一目」確認できます

気軽にご相談下さい！

お問い合わせ先

太陽鉱油(株)豊栄インターSS

担当 鳥羽

☎ 025-388-0195

リンク先URL <https://www.taiyo-koyu.co.jp/customers.html>

「電気工事作業指揮者安全教育」WEB講習会での実施

令和3年度電気工事作業指揮者安全教育は、初の試みとなる各拠点をつないだWEB講習会形式にて開催されました。WEB講習会とするメリットは、今まで指定した会場までが遠い受講生の皆様が近隣支部指定の会場での受講とする事で、受講生の利便性、負担が軽減される事です。

本年は計4回のWEB講習会が行われ、大きな映像・音声の乱れもなく、講習会の品質を維持しながら講習が実施出来ましたので、これからもWEB講習会にて実施していければと思います。

参加された受講生の皆様、各拠点にて設営、受

講管理等いただいた皆様。ご協力頂き、ありがとうございました。



WEB講習受講風景



東北電気保安協会
雪 講師



内山労働安全コンサルタント事務所
内山 講師



WEB講習配信風景

充実した
3階建て!!



豊かなセカンドライフへ

電気工事業に従事する方々の
よりよい福祉の向上を目指します

東北七県電気工事業企業年金基金

〒984-0074

宮城県仙台市若林区東七番丁157番地

TEL 022-221-4415 Fax 022-221-6843

新潟県電気工事工業組合 公式 Instagram（インスタグラム）始めました！

当工組の広報・IT委員会では、電気や電気工事、業界や組合のことを広く皆様方に知っていただくために、新潟県電気工事工業組合の公式 Instagram（インスタグラム）を始めました！

今後、電気や組合の色々なこと、皆様楽しんでいただけるコンテンツを発信していきますので、組合員の皆様方、従業員の皆様方、関係団体・企業の皆様方、そして電気にご興味のある多くの皆様方から、是非、フォローや「いいね！」をお願いします！

- アカウント：ndkk1203
- URL：https://www.instagram.com/ndkk1203/



令和3年度

電気保安功労者表彰

令和3年度の電気保安功労者表彰の受表彰者が決定し、当工組より、電気工事業者の営業所の部で株式会社宮下電設（代表取締役 宮下嘉克氏）、並びに個人の部：電気保安関係永年勤続者として株式会社協電舎の原田和広氏が永年にわたり電気保安の確保に顕著な功績があったとし

て表彰されました。

9月2日に宮城県仙台市内にて開催が予定されていた「令和3年度電気保安功労者表彰式」は、宮城県への新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言発令に伴い中止となりましたが、10月27日開催の当工組第2回常務理事会の席上において表彰伝達式が執り行われ、横田理事長より受表彰者の宮下嘉克氏、原田和広氏に表彰状と記念品が伝達されました。

▼電気安全東北委員会委員長表彰

— 電気工事業者の営業所の部 —



株式会社 宮下電設
代表取締役
宮下 嘉克 氏
(長岡支部)



株式会社 協電舎
代表取締役社長
原田 和広 氏
(燕支部)



表彰伝達式



表彰伝達式

変圧器／ヒューズ／開閉器／受配電設備／配電自動化機器／監視制御システム／
太陽光発電用パワーコンディショナ／高周波電源／溶接機／切断機／ロボット

DAIHEN 株式会社 **ダイヘン**

本 社 〒532-8512 大阪市淀川区田川2丁目1-11 TEL 06(6301)1212
東北支社 〒981-3133 仙台市泉区泉中央4丁目7番地7 TEL 022(218)0942

<http://www.daihen.co.jp/>

令和3年度

消防設備保守関係者表彰

去る11月5日、令和3年度の消防設備保守関係者等表彰式が、明治記念館（東京都港区）で執り行われ、当工組より、消防設備保守関係者として理事長の横田良英氏が、地域社会における消防用設備の普及・維持管理、並びに消防設備保安管理体制の充実に尽力した功績により、一般財団法人日本消防設備安全センター理事長から表彰されました。

▼消防設備保守関係者表彰



株式会社 英電社

取締役会長

横田 良英 氏

(柏崎支部)

第35回

**消防設備保安功労者
新潟県知事表彰**

去る10月27日、第35回新潟県保安大会表彰式が新潟県建設会館（新潟市中央区）で執り行われ、当工組より、消防設備保安功労者として理事の斎藤賢氏が、地域社会における消防用設備の普及並びに維持管理と、消防設備に係る保安管理体制の確立に尽力した功績により、新潟県知事から表彰されました。

▼第35回

消防設備保安功労者新潟県知事表彰



共栄電気 株式会社

代表取締役社長

斎藤 賢 氏

(新潟支部)

第29回

優秀施工者新潟県知事表彰

去る11月9日、第29回優秀施工者新潟県知事表彰の表彰式が新潟ユニゾンプラザ（新潟市中央区）で執り行われ、施工成績が特に優秀な施工者が表彰されました。

当工組より、本間電機工業株式会社 小嶋一彦氏が電気設備工事の施工管理が優秀であるとして表彰されました。

▼第29回

優秀施工者新潟県知事表彰



本間電機工業 株式会社

工事部 課長

小嶋 一彦 氏

(三条支部)

小千谷支部

夢花火 10.23 ～大花火が灯す未来への軌跡～

10月23日「中越大震災の日」に『夢花火10.23』が打ち上げられました。

平成16年10月23日午後5時56分新潟県中越地方を震源とするM6.8の地震が発生しました。その地震から今年で17年がたちました。震災を直接経験していない子供たちへ震災の教訓と困難から立ち上がる力を伝え語り継ぐとともに、新型コロナウイルスの感染症の早期終息とこれからを担う子供たちや若い世代への想いや夢をのせ、午後5時56分の地震発生時刻に「追悼花火」、午後6時30分「夢花火～未来への軌跡～」が打ち上げられました。

花火打上げ当日はととてもよく晴れていました。夏の湿気を帯びた熱く重い夜空とは違い、空気も澄んでいて花火がととても綺麗に見えました。小千谷市中心地に架かる旭橋や、信濃川河川敷には多くの人があり、マスク着用や適度な間隔をとりながら、花火を楽しんでいました。花火

打上げは15分程でしたが、見物客からは拍手があがっていました。その他打上げの様子は、YouTube「おぢや放送室」でライブ配信も行われ、それぞれの場所で久しぶりの花火を楽しんでいたようです。写真は信濃川河川敷より撮影したものです。

全国的に新型コロナウイルス感染症が落ち着いてきて、ようやく経済活動を再開させようとしているまさにこれからというときに、材料費や原油価格の高騰、また新型コロナウイルスの変異ウイルスが海外で確認されるなど不安材料は尽きません。

2年続けて中止になった、おぢやまつりや片貝まつりの来年の開催は今のところ未定です。今までと同じようなお祭りの形は無理かもしれませんが、来年は夏の夜空に打ち上がった花火を見れることを願っています。



魚沼支部

コロナウイルス退散

2021年は年明け早々から、1都3県に緊急事態宣言発出で幕を明けました。当地においても前年末頃から感染症が広がりを見せ、また記録的な大雪にも見舞われた事により、ほとんどの皆様が自宅での正月をお過ごしだったのでないでしょうか。

振り返ると、自粛と解除を繰り返し、商店街の灯は消えかかり、コロナウイルス禍がいつ終わるのか、以前の「日常」は戻って来るのかといった先行きの不透明さから閉塞感の漂う日々が続いていました。魚沼支部で例年開催されていた事業はほとんどが中止を余儀なくされました。開催された事業での記録写真は皆さんマスク姿ばかりです。

冒頭にも述べた様に、今年の正月はバーゲンセールや人で賑わう初詣に行くのではなく、家族や近い友人と自宅でゆっくり過ごしました。また、夏休みは旅行に行くのではなく、子供たちを近くの川に連れて行き泳ぎ方や魚の捕りかたを教えてあげました。以前は、そんな退屈な日常なんてと思っていた過ごし方がノーマルになり、私たちの価値観も大きく動いている事を実感しました。ただ、この様な日常も、私たちが子供だった頃には当たり前の過ごし方だったという事にも気付かされました。

大昔の社会は小さく、家族という最小のコミュニティにより構成されていました。それが

次第に大きな社会になり、誰もが世界に目を向けられる様になりました。そして、まだ見ぬ広い世界に羽ばたく事、大きな社会の中の一員として働く事にステータスを感じる様になりました。

しかし、コロナウイルス禍の中では決して大きい事だけが価値ではなくなり、都会で密集する事よりも自分の時間と空間が確保される田舎暮らしに目を向けられる様になりました。これをきっかけに、地元・魚沼を求める人が増え、再び地域が活気づく日が訪れるまで、現代社会に欠くことができない「電気」というライフラインを支えていきたいと考えております。

結びになりますが、新型コロナウイルスのワクチン接種は進み、やがて経口薬が世に出れば収束も見えてくると思っております。昨年よりも今年、今年よりも来年、皆様がさらに良いお正月を迎えられるようにご祈念申し上げます。



引込線訓練風景



定時総会風景



安全月間風景

県青年部

令和3年度 「理事会」「経営セミナー」を開催

県青年部（荻荘陽一会長）は、10月22日（金）に電気工事会館にて理事会を開催し、親会の水嶋副理事長、県青年部理事・監事・顧問27名、事務局2名の計30名が出席しました。本来であれば、新発田支部管内にて移動理事会を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮し、規模を縮小した形で、理事会を電気工事会館にて開催しました。

理事会では、議長に本間 隼人（三条支部）を選出し審議を行いました。

各議案については下記の通りです。

〔理事会議案〕

第1号議案 収支中間報告について

第2号議案 青年部旅費規定の変更について



理事会終了後、会場にいない他青年部会員や親組合等の方々も経営セミナーを視聴できるようWEB環境を整え、周知を行い、ハイブリット方式にて計43（最大17拠点が接続）名の参加者の下、経営セミナーを開催しました。

今回は、経営・技術委員会の今期活動目的に合わせ、(有)原田左官工業所の代表取締役社長である原田宗亮氏を招き、「若者と女性が活躍する会社の作り方」についてご講演いただきました。

電気工事業界では、高齢化や担い手不足が大きな課題であり、採用が思うようにできず、採用しても定着せず辞めてしまう事例が多いのが実情です。また、女性活躍が叫ばれる一方で、

女性を雇用する経営者の気づきや環境整備が追いついていない現状があります。その為、同じ建設業である左官業で、人材育成に独自の手法を取り入れ、若手だけでなく、女性も定着し活躍する仕組みづくりを行い、各方面から注目されている原田様に、自社での取り組みについて、わかりやすくお話いただきました。参加した青年部会員からは「コロナ禍で難しい状況ではあるが、若い社員とのコミュニケーションの取り方を考えていきたい」「採用に関して会社の紹介方法が参考になった」等、とても参考になったという意見・感想が多く上がりました。

新型コロナウイルスの蔓延に伴い、思うように集合型の研修や会議が出来ない中、これからも県青年部では従来より進めているハイブリット方式による会議やセミナー・研修に併せて、使用資料のペーパーレス化へ前向きに取り組み、「新様式」を取り込んで活動をより一層活性化していきます。



三条支部青年部

活動報告

新年明けましておめでとうございます。
また、いつも活動を温かく見守っていただきありがとうございます。

2021年は地域交流活動の難しい時期が続き、毎年実施していた新潟県央工業高校での学生交流事業・電気器具清掃のボランティア・イベントでの高所作業車乗車体験など中止となった事業が多くありました。三条支部が担当となっている青年部支部間交流親善スポーツ大会三条大会も2度延期となっています。2022年はこれらの事業が形を変えても実施できるようにと考えています。

そのような中、10月に『第一種全熱交換型換気』と題した換気設備の勉強会を開催することができました。

当日はパナソニック(株)・岡田電気産業(株)にご協力を頂き、換気の歴史や基礎知識、熱交換気システムをはじめとする換気商材や考え方、そして実際の現場での施工ポイントまで熱く楽しくご紹介頂きました。

見えない脅威と対峙し続けた2年間、不安を感じることも多い期間でした。

まだ油断はできませんが、私たちにできることは、これまでの対策に加えて今回勉強した換



気設備や普段の仕事を通してお客様の不安をひとつずつ取除くこと・安心を提供していくことかと思えます。

今後も勉強会や事業を通して、メンバー同士情報共有・意見交換しながら、今までとは違いかもしれないあたり前を提供できるよう、また地域の皆さんと交流し電気工事を身近に感じてもらえるよう活動していきます。

先進技術による 配電盤と電気工事



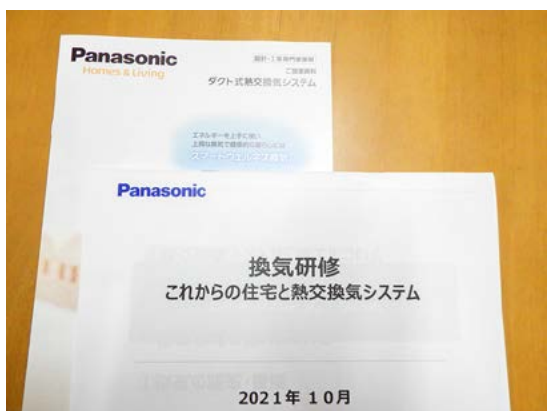
東港工場



三浦電機株式会社

代表取締役社長 小名 堅一郎

本社 新潟市東区錦町1-18 TEL 025-274-0381
FAX 025-274-0385
柏崎支店 柏崎市三和町3-40 TEL 0257-24-3739
東港工場 新潟市北区島見町3399-10 TEL 025-255-4201



燕支部青年部

with コロナ

寒気厳しきおりでございますが、皆様ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

また、近頃コロナ禍が落ち着きつつある状態ではありますが予断を許さず、皆様のご心労をお察し致します。

燕支部でもコロナ禍で行事を中止せざるを得ない状態が続いております。

4月末にコロナ禍が一旦落ち着いた時に、何とか通常総会を行う事が出来ました。

本来であれば、通常総会後にご来賓の方もお招きし、懇親会を執り行い親睦を深めるところですが、それが叶わず残念でなりません。

11月末には、県青年部創立40周年記念事業の一環として支部会員が集まり集合写真を撮りました。撮影後、久しぶりに集まった会員間で情報交換や世間話ができ、非常に有意義な時間を過ごせました。



集合写真

今年度は、通常総会以外いまのところ行事を執り行えておりませんが、2月には支部組合員間の親交を深める為の恒例のボーリング大会を予定しております。また、来年4月には、燕市観光協会よりお話を戴いた新しい試みとして、桜ライトアップのボランティア事業を企画し実施

にむけて邁進しております。

コロナ禍の状況次第ではありますが、今後、より多くの行事を執り行えればと思っております。

最後になりますが、このところまたコロナウイルスの新型変異株が騒がれてきているようですので、皆様これまで同様お気をつけてお過ごしください。



R3年度通常総会

BESTパートナー

つなぐ 大樹生命

～信頼を届け、未来を拓く～ 日本生命グループ

しっかりと大地に根を張り、
晴れの日も雨の日もしっかりとお客さまを守り、
多くの人が集まってくる、
そんな“大樹”のような保険会社をめざしてまいります。

大樹生命保険株式会社 新潟支社
〒950-0087 新潟市中央区東大通1-3-10 大樹生命新潟ビル6F
TEL:025-243-6877 <https://www.taiju-life.co.jp/>

第一種電気工事士 免状をお持ちの方へ

第一種電気工事士定期講習のご案内

新潟県電気工事工業組合担当による第一種電気工事士定期講習を下記により開催します。

開催日	会場
令和4年3月4日(金)	新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室 満席

■お問合せ・お申込み先：新潟県電気工事工業組合 講習担当 TEL：025-229-1587

※当工組が所属する『一般財団法人 電気工事技術講習センター』にご登録されている方には、受講時期に合わせて、(一財)電気工事技術講習センターより「講習申込書」と「会場一覧表」のご案内があります。ご登録されていない方についてはご案内がありません。必要な場合は、(一財)電気工事技術講習センターへのご登録をお願いします。

令和4年度 消防関係試験実施計画

1. 危険物取扱者試験実施計画

試験日	受付期間		試験の種類	試験場所
	電子申請	書面申請		
R4. 6. 4 (土)	R4. 4. 15 (金) ～ 5. 6 (金)	R4. 4. 18 (月) ～ 5. 9 (月)	甲種第1～6類 乙種第1～6類 丙種	新潟市 三条市 長岡市 新発田市 上越市 佐渡市
9. 4 (日)	7. 12 (火) ～ 7. 29 (金)	7. 15 (金) ～ 8. 1 (月)	甲種第1～6類 乙種第1～6類 丙種	新潟市 長岡市 上越市
11. 20 (日)	10. 3 (月) ～ 10. 21 (金)	10. 6 (木) ～ 10. 24 (月)	甲種第1～6類 乙種第1～6類 丙種	新潟市 長岡市 上越市
R5. 3. 4 (土)	R5. 1. 10 (火) ～ 1. 27 (金)	R5. 1. 13 (金) ～ 1. 30 (月)	甲種第1～6類 乙種第1～6類 丙種	新潟市 長岡市 上越市

2. 消防設備士試験実施計画

試験日	受付期間		試験の種類	試験場所
	電子申請	書面申請		
R4. 6. 25 (土)	R4. 5. 10 (火) ～ 5. 24 (火)	R4. 5. 13 (金) ～ 5. 27 (金)	甲種第1～5類 乙種第1～7類	新潟市 長岡市 上越市
10. 9 (日)	8. 16 (火) ～ 9. 2 (金)	8. 19 (金) ～ 9. 5 (月)	甲種特類 甲種第1～5類 乙種第1～7類	新潟市 長岡市 上越市
R5. 3. 11 (土)	R5. 1. 17 (火) ～ 2. 6 (月)	R5. 1. 20 (金) ～ 2. 9 (木)	甲種第1～5類 乙種第1～7類	新潟市 長岡市 上越市

(一財) 消防試験研究センター 新潟県支部

※受験願書、免状の書換え申請書は、支部及び県内の消防署で3月下旬頃から配布をする予定です。

※詳細については、下記にお問い合わせ下さい。

〒950-0965 新潟市中央区新光町10-3 技術士センタービルⅡ 7階703号

TEL 025-285-7774 FAX 025-211-7011 <https://www.shoubo-shiken.or.jp>

組合で取り扱う各種保険商品をご紹介します！

電気工事に伴う、さまざまなリスクに
「3つの安心」

【2022年度】

本拠地をも「ワイド」に拡大!
約700名

第三者への損害賠償
第三者損害賠償制度(第三者責任補償)

工事物件・資材への保険
積立保険制度(積立保障)

従業員への労災の補償
業務災害補償制度(業務災害補償)

全日電工連
認定損害保険制度のご案内
全日本電気工事業工業組合連合会

全日電工連認定
生活総合保険制度のご案内

【2022年度】

「4つの補償」があなたと、ご家族の生活を守ります。

個人賠償責任補償
所得補償
介護補償
がん補償

働き盛りの方にとってのこがたくなった場合に
「病気の補償」に上限を超えて、更に高額な生活をサポートする補償をご用意しました!
保障料とご自身の所得に合わせたご加入が可能です。

自動更新

全日本電気工事業工業組合連合会

全日本電気工事業工業組合 組合員の皆様へ

全日電工連認定
取引信用保険制度のご案内

【2023年度】

【全日電工連だけのメリット】

- 無審査
- 取引信用の申請は不要です。取引先を見ただけでOK!
- シンプルで加入しやすい
- 売上高ごとの補償プラン選択方式のため算出の保険料計算が不要です。
- 手続きが簡単
- ご加入は即時の加入申込書1枚を提出するだけ!

2021年4月1日商品引上げのあった「取引クレジット補償」が「賠償」に引き上げられました。

全日本電気工事業工業組合 取引信用保険制度のご案内

全日本電気工事業工業組合 取引信用保険制度のご案内

【2022年度(継続制度)】全日電工連の生命保険(就業時限定)・労災保険(就業時限定)・疾病保険(就業時限定)・生活総合保険(就業時限定)・本プランレットをご一読いただき、ご都合に合わせ、保障の申しこみをお願いいたします。

全日電工連
グループ共済制度のご案内

【2022年度】

手頃な掛金で
充実の保障!!

従業員の皆様が安心して働けます。

経営者が万が一の時に
事業承継にも役立ちます

「経営者おススメのコース」は70歳まで
最低300万円まで新加入・増入が可能です。
ご加入されると71歳から80歳までも
最低200万円まで自動更新できます。

全日本電気工事業工業組合連合会

0120-307282

【2022年度】 前年からの必要はございません。

弔慰金・見舞金制度のご案内

【2022年度】

全日電工連組合員がご加入いただく補償です。
○弔慰金、見舞金の決定の補償等に応じて、遺族へのお支払いです。
※補償内容の詳細は、本拠地または各支部の事務局にてお問い合わせください。【弔慰金・見舞金】は、ご加入の時点で、お支払いの補償料を定めています。

補償期間
2022年4月1日午後4時から2023年4月1日午後4時までの1年

このような場合にお支払いします

平型金種・見舞金額

平型金種	見舞金額
弔慰金	10万円
弔慰金(弔慰金)	2万円
弔慰金(弔慰金)	10万円
弔慰金(弔慰金)	5万円
弔慰金(弔慰金)	10万円
弔慰金(弔慰金)	2万円

補償対象

加入費

全日本電気工事業工業組合連合会

2021年度
労働災害総合保険(第二労災)
傷害総合保険(休業補償プラン)
新・団体医療保険(疾病補償プラン)
疾病補償基本特約(疾病補償特約)のご案内

【2021年度】

「第二労災」
【労働災害総合保険(第二労災)】(労災保障)による保障料は基礎額(労災基礎額)に労災補償額(労災補償額)を乗じて算出されます。労災補償額は、労災補償額(労災補償額)を基礎として、労災補償額(労災補償額)を算出します。

「新・休業補償プラン」
【労働災害総合保険(第二労災)】(労災保障)による保障料は基礎額(労災基礎額)に休業補償額(休業補償額)を乗じて算出されます。休業補償額は、休業補償額(休業補償額)を基礎として、休業補償額(休業補償額)を算出します。

【疾病補償基本特約(疾病補償特約)】(疾病補償)による保障料は基礎額(疾病補償基礎額)に疾病補償額(疾病補償額)を乗じて算出されます。疾病補償額は、疾病補償額(疾病補償額)を基礎として、疾病補償額(疾病補償額)を算出します。

【疾病補償特約(疾病補償特約)】(疾病補償)による保障料は基礎額(疾病補償基礎額)に疾病補償額(疾病補償額)を乗じて算出されます。疾病補償額は、疾病補償額(疾病補償額)を基礎として、疾病補償額(疾病補償額)を算出します。

保険期間: 2021年5月31日 午後4時 ~ 2022年5月31日 午後4時
補償期間: 1月1日 ~ 2023年3月31日 午後4時
【新】2021年4月2日(金)まで
中途加入: 毎月20日締め

引受保険会社: 損害保険ジャパン株式会社
取扱代理店: 新潟県電気工事業協会

令和3年10月1日

~普通傷害保険~
団体傷害保険のご案内

【24時間補償】【就業中の補償】
入替するついでに、通勤のみの場合も、遠回り1日自賠補償されます。
毎日安心の補償です。▼
専業主婦に加入をオススメします!!

例えばこんな傷害事故のときに役にたります!!

保護対象者: 新潟県電気工事業組合

加入対象者: 新潟県電気工事業組合の役員・従業員(専業主婦は加入できません。)

継続加入の補償額
令和3年11月26日午後4時以降
令和3年11月26日午後4時以降

加入年齢: 満18歳以上 70歳未満(75歳未満)

加入年齢: 満18歳以上 70歳未満(75歳未満)

加入年齢: 満18歳以上 70歳未満(75歳未満)

新規・中途加入の補償額
令和3年11月26日午後4時以降
令和3年11月26日午後4時以降

申込期間: 令和3年11月26日午後4時以降
令和3年11月26日午後4時以降

加入年齢: 満18歳以上 70歳未満(75歳未満)

加入年齢: 満18歳以上 70歳未満(75歳未満)

加入年齢: 満18歳以上 70歳未満(75歳未満)

全日本電気工事業工業組合連合会

損保ジャパン
SOPRO 損害のへ、先を、

新潟県電気工事業組合・組合員の皆さま
集団扱自動車保険のご案内

【2022年度】

法人に加入されるより約5%の引上げ
- 集団扱自動車保険の優待制度です。
- 法人に加入されるより約5%の引上げです。
- 法人に加入されるより約5%の引上げです。

万が一のときも安心です!
24時間対応の緊急対応サービスです。
24時間対応の緊急対応サービスです。
24時間対応の緊急対応サービスです。

貴専任による新潟県への営業OK!
- 新潟県に営業所がないお客様でも、専任営業員による営業サービスです。
- 新潟県に営業所がないお客様でも、専任営業員による営業サービスです。

ご家族のマイカーも加入OK!
- 貴専任による営業サービスです。
- 貴専任による営業サービスです。

新保料は差別なしで、5%の引上げです。
- 貴専任による営業サービスです。
- 貴専任による営業サービスです。

【任意で加入可】
- 貴専任による営業サービスです。
- 貴専任による営業サービスです。

0120-256-110 (新潟県専用)

損保ジャパン株式会社

新保料は差別なしで、5%の引上げです。
- 貴専任による営業サービスです。
- 貴専任による営業サービスです。

労働保険事務組合制度
労働保険事務組合とは

事業主は事業主として、事業主がすべき労働保険の手続きを委託することにより、労働保険事務組合の認可を受けた事業主たる労働保険事務組合に委託していただきます。

労働保険事務組合への委託手数料は、労働保険事務組合の労務管理を委託することにより、労働保険事務組合が、労働保険の事務処理を委託しようとする労働保険事務組合に委託していただきます。

委託できる事業主
労働保険事務組合
労働保険事務組合
労働保険事務組合

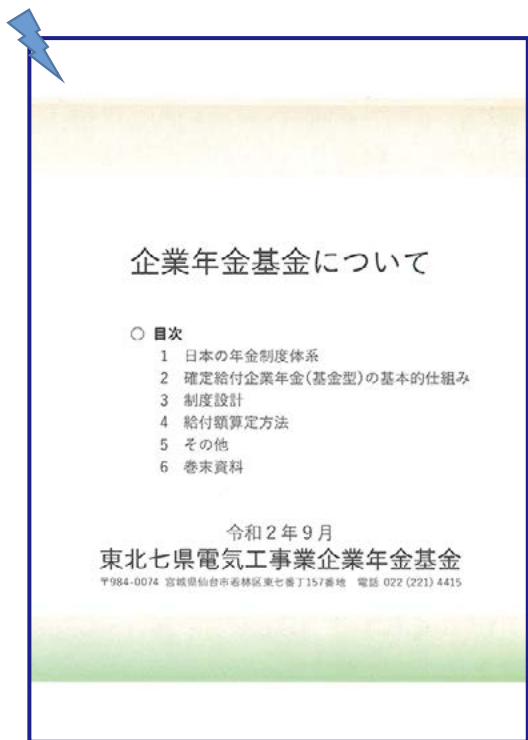
労働保険事務組合のメリット
①労働保険の労務管理を委託することにより、労働保険事務組合が、労働保険の事務処理を委託しようとする労働保険事務組合に委託していただきます。
②労働保険の労務管理を委託することにより、労働保険事務組合が、労働保険の事務処理を委託しようとする労働保険事務組合に委託していただきます。
③労働保険の労務管理を委託することにより、労働保険事務組合が、労働保険の事務処理を委託しようとする労働保険事務組合に委託していただきます。
④労働保険の労務管理を委託することにより、労働保険事務組合が、労働保険の事務処理を委託しようとする労働保険事務組合に委託していただきます。

労働保険事務組合を委託するにあたっての注意点は、労働保険事務組合の労働保険の事務処理を委託することにより、労働保険事務組合が、労働保険の事務処理を委託しようとする労働保険事務組合に委託していただきます。

労働保険事務組合を委託するにあたっての注意点は、労働保険事務組合の労働保険の事務処理を委託することにより、労働保険事務組合が、労働保険の事務処理を委託しようとする労働保険事務組合に委託していただきます。

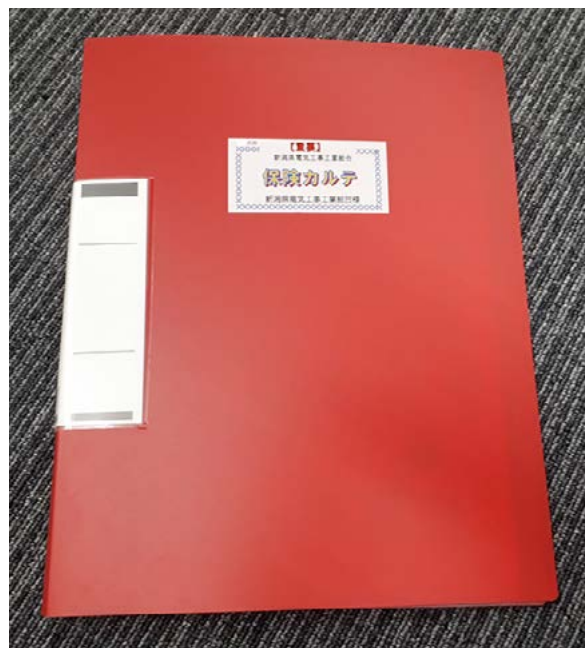
労働保険事務組合を委託するにあたっての注意点は、労働保険事務組合の労働保険の事務処理を委託することにより、労働保険事務組合が、労働保険の事務処理を委託しようとする労働保険事務組合に委託していただきます。

労働保険事務組合を委託するにあたっての注意点は、労働保険事務組合の労働保険の事務処理を委託することにより、労働保険事務組合が、労働保険の事務処理を委託しようとする労働保険事務組合に委託していただきます。



今年度、組合員の皆様へ3年間ご使用いただける「保険加入のご案内」をお送りしています。現在、どの保険にご加入しているか一目でわかる資料となりますので、是非ご活用下さい！

保険の種類	令和3年度	令和4年度	令和5年度
～全日電工連認定損害保険～			
◆第三者損害賠償制度	加入者 被保険者 加入料	加入者 被保険者 加入料	加入者 被保険者 加入料
◆業務災害補償制度	加入者 被保険者 加入料	加入者 被保険者 加入料	加入者 被保険者 加入料
◆国立保険制度	加入者 加入料	加入者 加入料	加入者 加入料
～全日電工連認定～			
◆生活総合保険制度	加入者 被保険者 加入料	加入者 被保険者 加入料	加入者 被保険者 加入料
◆引当引換保険制度	加入者 加入料	加入者 加入料	加入者 加入料
◆慶弔金・見舞金制度	加入者 加入料	加入者 加入料	加入者 加入料
◆全日電工連グループ共済制度	加入者 加入料	加入者 加入料	加入者 加入料
◆労働災害総合保険（第二労災）	加入者 被保険者 加入料	加入者 被保険者 加入料	加入者 被保険者 加入料
◆労務健康プラン	加入者 加入料	加入者 加入料	加入者 加入料
◆疾病補償プラン	加入者 加入料	加入者 加入料	加入者 加入料
◆団体普通傷害保険	加入者 加入料	加入者 加入料	加入者 加入料
◆集団自動車保険	加入者 加入料	加入者 加入料	加入者 加入料
◆東北七県電気工業企業年金基金	加入者 加入料	加入者 加入料	加入者 加入料
◆労働保険事務組合	加入者 加入料	加入者 加入料	加入者 加入料



新しいパンフレット等がお手元に届きましたら、保険カルテファイルに差し替えてご活用下さい。

コンプラ講座シリーズ

電気工事業コンプラ mini 講座⑥

知らないうちに違反しているかも?
え!? これも違反だったの?

事業者のみなさんが電気工事業を営む上で欠かせない事項をピックアップしてご紹介しております。早速チェックしてみましょう!

請け負った電気工事を電気工事業者ではない者に
請け負わせてはいけませんが、守られていますか?

ありがちな勘違いと違反項目

独立した元社員に下請け会社として発注をかけたが、その元社員の会社はまだ電気工事業登録をしていなかった。この場合は電気工事業法違反となります。

自社が請け負った電気工事を「電気工事業者」ではない会社・個人事業主・一人親方に請け負わせてはいけません。電気工事士資格を有しているだけではダメです。

独立した直後の顔なじみの方などに仕事を依頼する際には、事前に業者登録が済んでいるか確認が必要です。

組合員の異動

令和3年10月～12月理事会報告分

日付		支部	
R4. 3. 31	脱退	三条	(有)スワキ
R4. 3. 31	脱退	燕	川上電気設備
R4. 3. 31	脱退	長岡	(株)関矢電気
R4. 3. 31	脱退	長岡	丸久電機商会

組合員の変更

令和3年10月～12月組合受付分

支部	事務所	変更箇所	変更前	変更後
新潟	(有) さくら電気	住所変更	〒950-0130 新潟市江南区砂山2-6-5	〒950-0207 新潟市江南区二本木5-9-8
村上	桐生電気商会	代表者	桐生 國 男	桐生 健 男
	(有) 高野電気商会	代表者	高野 英 一	高野 裕 司
新発田	武藤電気	電話	0254-32-1725	0254-32-3039
燕	関根電機	F A X	0258-89-8678	0258-75-3881
長岡	(株) エレクナラバ	代表者	奈良場 清	奈良場 弘 至
上越	(株) 藤縄電機製作所 直江津事業所	代表者	古澤 則 男	大柄 輝 彦
佐渡	金子電機商会	代表者	金子 正	金子 泰



新潟県電気工事工業組合

HP

<https://www.dkkni.or.jp>



Twitter

@ndkk_denki



Instagram

@ndkk1203



YouTube



編集発行：新潟県電気工事工業組合

〒 951-8068

新潟市中央区上大川前通6番町1203番地

<管理部門> TEL 025 (229) 4101

<資材部門> TEL 025 (229) 1586

制作：株式会社 大創

ヒヤリで済んだあの瞬間
伝えて摘み取る危険の芽
皆で築こう安全作業

〈安全標語〉 新潟支部 ダイダシ(株)新潟支店 荒井 三三男

新潟県電気工事工業組合